

3-4 短期大学部門FD/IT検討会議

本会議は、ファカルティ・ディベロップメント（FD）の在り方について研究するため、IT活用を含めた人間基礎力を育成するための教育・学習指導法の工夫などについて討議することを目的としている。会議の企画・運営・実施は「短期大学会議FD/IT運営委員会」（委員長：戸高敏之、同志社大学）を継続設置して対応した。

（1）開催要項の決定

昨年度に続きFDの取り組みを中心とした事例紹介を行い、会議のまとめとして事例紹介の後に質疑応答を含めた全体討議を行うことにした。また、FDに関するプログラムを多く取り上げている9月開催の「教育改革IT戦略大会」の3日目に併催することで、大会に参加している短大関係者の参加が得られるよう、以下の通りプログラムを決定した。

平成20年度短期大学部門FD/IT検討会議開催要項

日時 平成20年9月4日（木）13：00～17：00
場所 アルカディア市ヶ谷（東京、私学会館） 受付：5F、会場：4F鳳凰

【開催趣旨】

短期大学教育のファカルティ・ディベロップメント（FD）の在り方について、人間基礎力を育成するための教育・学習指導法の工夫、保育等の教育の工夫など、IT活用を含めFDの課題と対応策について研究討議する。

【開会挨拶】 社団法人 私立大学情報教育協会 戸高 敏之 会長

【事例紹介1】 「教育研究推進センターを中心とした教育改革への取り組み」
自由が丘産能短期大学 池内健治 氏（教育研究推進センター所長）
全学共通科目を中心とした教育プログラム開発、「到達目標とその達成状況」に関する研究と啓蒙、ICTを活用した教材の開発および実施支援、授業プログラムの開発と実施に関する相談と支援など、教育研究推進センターを中心とした教育の取り組みについて紹介する。

【事例紹介2】 「学生ニーズにフォーカスする教育プログラム」
新潟青陵大学短期大学部 野中 辰也 氏（教務副部長）

学内全授業科目についての授業評価をはじめ、学内全教員を対象とした授業公開、全教員参加によるアドバイザー制による履修・就職指導、ネット利用による教学支援システムなど、入学から卒業まで学生一人ひとりをきめ細かく支援するための取り組みを紹介する。

【事例紹介3】 「保育者養成校の特色ある総合演習教育と子育て支援～ボランティア体験と地域連携～」
高田短期大学 三宅 啓子 氏（子ども学科長、教授）
福西 朋子 氏（子ども学科准教授）

保育者に求められる子育て支援力（ニーズ理解や企画力、支援の方法と技術、コミュニケーション能力等）の習得を目指し、全学生によるボランティア活動や、育児文化研究センターを中心とした地域連携による子育て支援のボランティア活動など体験学習の取り組みや学内の支援体制を紹介する。

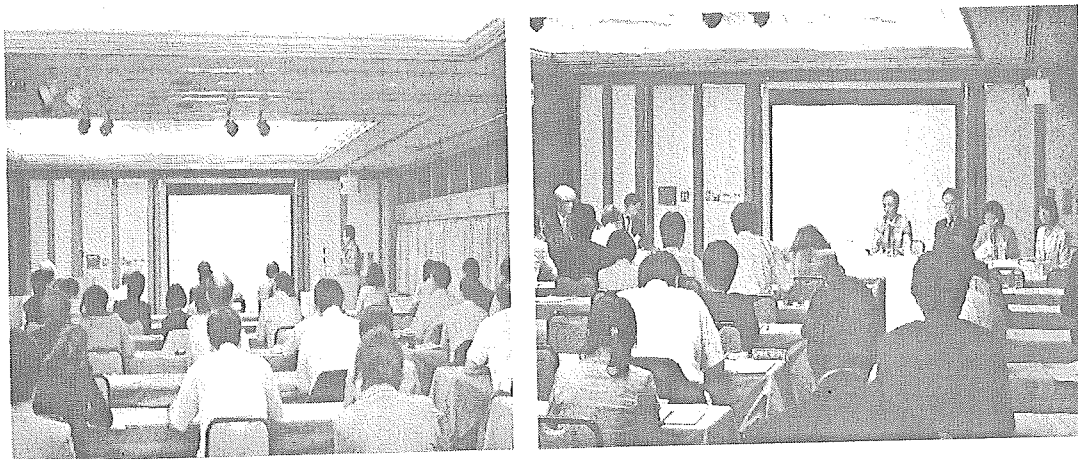
【全体討議】 「短期大学教育の再構築に向けて」

短期大学を取り巻く環境が益々厳しくなる状況の中、将来に亘って存続・発展していくためには、独自性のある教育課程の編成、教育内容の充実、教育方法の改善、地域社会への貢献と連携など多くの課題に積極的に取り組み、短期大学教育を再構築することが不可欠となってきた。このため、全体討議では、短期大学が抱えている問題や課題についての取り組みや施策などについて、事例内容を踏まえ参加者を交えて討議する。

(2) 開催結果および次回への準備

開催要項は、会員代表者を介して配布しているが、加盟短期大学に案内を個別に送付しなかったことと、併催した大会のプログラムに短大関係者が参加したことなどから、参加者は昨年度より約40名少ない26名となった。開催結果は、巻末の資料編【資料14】を参照されたい。

その後、運営委員会では、参加者アンケートを踏まえて21年度の開催方針を検討した結果、今年度と同様に教育改革IT戦略大会と併催するが、短大関係者の参加を確保するため、短大固有のテーマとして短期大学教育の改革の方向性を基調に設定するとともに、学生確保に効果を上げている戦略の事例、情報技術を活用して学習支援するなどの多くの短期大学に共通する事例を準備することで参加規模を回復することになっている。なお、本会議と時間帯が重なる大会プログラムについては、テーマの設定を工夫することで本会議の参加に影響しないよう企画することになっている。大会2日目の9月2日にアルカディア市ヶ谷（私学会館）にて開催することに決定した。



短期大学部門検討会議